

令和6年度 人権標語表彰者

末恒小学校の児童のみなさん

末恒小学校の児童を対象に作品を募集し、応募作の中から最優秀賞3名、優秀賞9名、佳作9名を選出しました。

10月27日(日)の地区文化祭で表彰式を執り行い、最優秀作品は地区内施設・店舗に張り出し、人権意識啓発の向上に努めています。



最優秀賞

低学年の部	2年	濱橋 凧咲	こまっている たすけるともだち そばにいる
中学年の部	4年	河上 智統	助け合い みんなの笑顔 つなごうよ
高学年の部	5年	中尾 優愛	手をつなぎ 人と人とで つながる輪

優秀賞

低学年の部	1年	倭島 陽絆	だいじょうぶ ふわふわことばで げんきになるよ
	1年	小山 智大	だいじょうぶ みんなにやさしく こえかける
	2年	竹永 悠	声かけて いっしょにあそぼう いいきもち
	2年	松岡 良	かくさずに 相談しよう いじめなど
中学年の部	4年	下田 凧時	やめようよ とめるともだち たいせつに
	4年	野沢 由奈	すえつねは えがおいっぱい みんながね
高学年の部	6年	中島 璃乃	かげぐちは 自分の耳が きいてるよ
	6年	山根 愛叶	ありがとう みんなが作る 笑顔のたね
	6年	松本 健良	思いやり 心を一つに たすけ合おう

佳作

低学年の部	1年	馬林 佑季	ありがとう すまいるになる にこにこことば
	2年	倭島 結星	ともだちが こまっていたら たすけるよ
中学年の部	2年	野沢 磨架	ありがとう ごめんなさい 大きな声であいさつだ
	3年	池本 晃大	すごいこと だれかがしたら ほめあおう
	4年	竹本 遼	あたたかい すてきな言葉 ありがとう
高学年の部	4年	椿 琉羽	いっぱいの えがおがたくさん すてきだね
	5年	松本 千奈	たくさんの プラスの言葉で みんなが笑顔
	6年	石黒 碧一	みんなでね つくろう笑顔の 学校を
	6年	西尾 茉莉花	差別なく 男女平等 生きやすく



令和6年度購入新刊図書(人権関連)

図 書 名		著 者
児童書	みえるとか みえないとか みんなが感じている「当たり前」を見直す機会を与えてくれる絵本です	ヨシタケ シンスケ
	おかあさん ありがとう 親子でいっしょに楽しめる子育て応援絵本です	みやにし たつや
一般書	なぜ人と人は支え合うのか「障害」から考える 人と社会・人と人とのあり方を考える本です	渡辺 一史
	あの世でも仲良う暮らそうや 104歳になる父がくれた人生のヒント 父親の心温まる日常を通じて、老いの価値や生きることの意義を伝えています	信友 直子

編集後記: 「人権」といってもさまざまな内容があり、みなさまにも身近に感じる人権問題もあると思います。周りの大切な人たちが傷つくことがない世の中になるよう、一人一人が人権問題に関心を持っていただけたらと思います。今後とも人権啓発活動にご協力をお願いいたします。

末恒

じんけんだより

令和7年3月31日発行
編集・発行
末恒地区
人権啓発推進協議会
鳥取市伏野1986-32

今年度の人権啓発活動を振り返って 小地域懇談会

末恒地区人権啓発推進協議会
会長 山本 英世



数年間に及ぶコロナ禍により、当末恒地区の人権啓発推進協議会の活動も他の組織と同じく様々な制限の中で行ってきましたが、本年度はようやく従来の活動に戻すことができました。4月に開催された湖東ブロック人推協の年初総会と末恒地区人権啓発推進協議会の評議員会を経て本年度の活動がスタートしました。各事業の実施詳細は下表及び次ページ以降をご覧ください、ここでは「小地域懇談会」について報告します。

本協議会の重点活動の一つである「小地域懇談会」は各町内ごとに毎年実施してきましたが、コロナ禍により3年間実施町内がありませんでした。昨年度はコロナ感染症が5類移行となり開催町内が増えると期待したものの2町内のみの開催となり、地区全体の人権問題に対する関心の低さが課題となりました。

そこで、今年度は全町内を三つのブロックに分けて開催することにしました。自治会の地域懇談会(各町内から上がった地区要望内容の聞き取り)と併せて開催した関係で、各町内の役員の方が中心の会となりましたが、中には役員以外の方の参加や小地域懇談会のみに参加された町内もあり、課題解決の糸口が見えてきました。参加された方の多くは研修会の必要性を感じておられ、今後の啓発にもつながるものでした。

今年度の結果を踏まえ、来年度もこの形態で開催する予定ですが、今後もより多くの方々に私たちの身近な暮らしの中にある差別や偏見、物事の見方やとらえ方等について一緒に考えていく機会をつくっていきたいと思いますので、地区住民の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

◆令和6年度 人権啓発推進事業報告◆

たくさんのご協力ありがとうございました。

月	日	曜日	内 容	場 所
4	12	金	湖東ブロック人権啓発推進協議会 年初総会	湖山地区公民館
	13	土	末恒地区人権啓発推進協議会監査会	末恒地区公民館
	27	土	末恒地区人権啓発推進協議会評議員会	末恒地区公民館
5	29	火	第1回末恒地区人権啓発推進協議会推進委員会	末恒地区公民館
7	6・20・27	土	小地域懇談会	末恒地区公民館
	26	金	湖東ブロック人権啓発研修会打合せ会	賀露地区公民館
9	7	土	湖東ブロック人権啓発研修会	賀露地区公民館
10	7	月	第2回末恒地区人権啓発推進協議会推進委員会/人権標語選考会	末恒地区公民館
	27	日	人権標語表彰式	末恒地区公民館
11	29	金	湖東ブロック人権啓発推進協議会会長会	賀露地区公民館
2	4	火	第3回末恒地区人権啓発推進協議会推進委員会	末恒地区公民館
3	1	土	人権講演会(福祉大会)	末恒地区公民館
	8	土	湖東ブロック人権啓発推進協議会推進員研修会・年度末総会	賀露地区公民館
	31	月	じんけんだより発行	

湖東ブロック人権啓発研修会

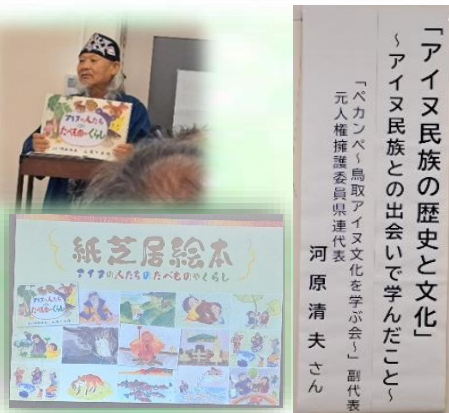
日程 令和6年9月7日(土)
場所 賀露地区公民館
講師 前鳥取県人権擁護委員連合会会長 河原 清夫 様

内容 「アイヌ民族の歴史と文化」
～アイヌ民族との出会って学んだこと～

独自の文化・生活様式(古式舞踊・アイヌ文様伝承・狩猟・漁労・採取)等、紙芝居などを使用し、分かりやすく伝えてもらいました。

アイヌ独自の文化生活を失い、日常生活において様々な偏見・差別を受けてこれ、今でも誤った認識・知らないことで差別が残っています。

アイヌのことだけに限らず、すべての差別偏見に対し、まず知ること・年齢問わず見たり聞いたり関心を持つことで、物事や人に対するそれぞれの思いから、気持ちや心が育つのではと思いました。



人権啓発事業（現地学習）

日程 令和6年11月12日(火)
場所 宿坊 光澤寺(八頭郡)

「さあ、宿坊光澤寺に行こう！」
～あなただけの時間と空間がここにはあります。
身体を休めて、心を解き放ち、自分を取り戻して
みませんか？～

令和6年3月福祉大会(人権講演会)で、光澤寺のご住職宗元英敏様をお招きし、ご講演をしていただきました。今度は見学に行こうという事になり、11月12日宿坊光澤寺に行き日帰り体験をしました。

ブータン王国と光澤寺との交流、ここに人として生きている事が幸せなどお話を伺った後、キラキラと輝く本堂納骨堂、境内樹木葬など見学し、お昼はイタリアン精進料理を食べてお腹も心もいっばいに満たされました。

最後はブータン王国のような心のリゾート宿坊光澤寺にしたいと話しておられました。

光澤寺の素晴らしさを体験し、これから幸せに生きるために終活や永代供養など考える事が出来とても良い日帰り体験となりました。

福祉大会（人権講演会）

日程 令和7年3月1日(土)
場所 末恒地区公民館
講師 東部医師会在宅医療介護連携推進室 塩谷 航平 様

演題 「わたしの心づもり」
～ACP(人生会議)のすゝめ～

3月1日、東部医師会在宅医療介護連携推進室の塩谷航平氏に「わたしの心づもり」と題してご講演をいただきました。

最初に、末恒地区について10年前人口6千人が令和6年度には5千人に減少し、14歳以下が8%余り、65歳以上が34%余りと聴かされ、少子高齢化をひしひしと感じました。

このような状況の中で、高齢者が如何に健康で自分らしく豊かな人生を送るかが重要なカギとなると話されました。社会活動に参加している人ほど健康状態が良い、生きがいを感じるとのアンケート結果を紹介され「人生会議(ACP=アドバンス・ケアプランニング)」を元気づけ、信頼できる友人や家族と繰り返し、「わたしの心づもり」を周りに理解してもらっておくことが大切である旨講演されました。

末恒地区では、様々な福祉活動・健康づくり等が行われており、地域の活性化と住民サービス向上に取り組んでいます。自助・互助・共助・公助の重要性を改めて認識し、社会参加を心掛け、日頃の生活に生かして行きたいと思います。

(末恒地区社会福祉協議会 岩田 光明)



「すてきなえがおつなごうね～笑顔いっぱい末恒小を！～」

末恒小学校 教務主任 小松 由果

本校では今年度、どの子も「安心・安全な居心地のよい学校づくり」を目指し、「笑顔」をキーワードに取組を行ってきました。

7月の「鳥取市Smile月間」に合わせて、人権教育に視点を置いたさわやか参観日、児童会活動についての取組を紹介します。

＜さわやか参観日＞

○1年生「だいじなからだ」

体の名称や働きを知り、男女の体の違いに気づき、お互いを大事にしようという学習をしました。

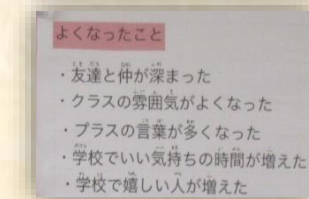
○4年生 「1秒の言葉」

受ける言葉の重みについて考え、生活の中で、相手を思いやり、大切にしたい言葉かけについて考えました。

＜生活委員会の取り組み＞

代表委員会で「プラスの言葉を広げよう」という議題を提案したことから、各学級が言葉遣いについて振り返り、学級で使っていきたい言葉を紹介し合いました。

その中で、「プラスの言葉を使うと学級の雰囲気良かった」「みんなに笑顔が増えた」と気づき、今後も継続して取り組んでいこうと確認し合うことができました。



小地域懇談会

本年度の小地域懇談会は、地区を分けて合同開催とし、3回に分けて行いました。

ネット社会における部落差別と人権をとりあげたDVD

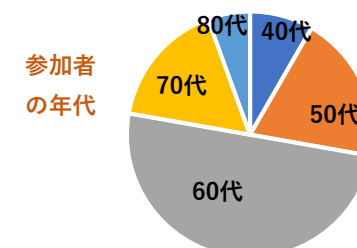
「大切なひと」を視聴し、鳥取市人権教育推進員の方から講評をしていただきました。

差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現を目標に各々が人権問題に関心をもっていくべきだと感じました。

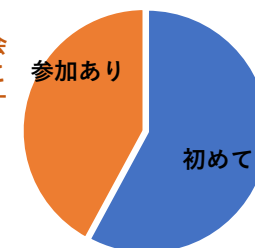
日程 令和6年7月6日(土)・7月20日(土)・7月27日(土)
場所 末恒地区公民館



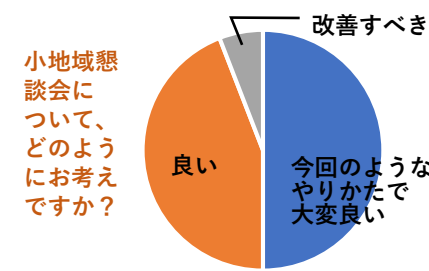
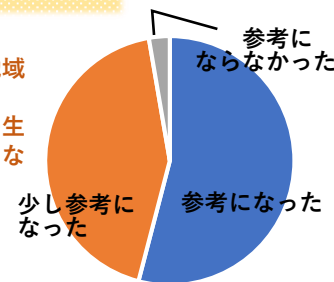
小地域懇談会のアンケート結果（総参加者59名、アンケート回答者36名）



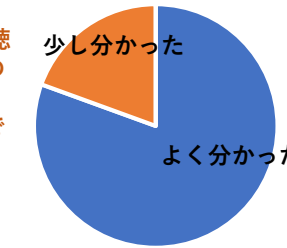
小地域懇談会に参加したことはありますか？



今回の小地域懇談会がこれからの生活に参考になりますか？



DVD視聴と講評の内容はいかがでしたか？



今後取り上げたら良いと思う内容は？（複数回答可）



VOICE

参加された方からのご意見

◆改めてインターネットの恐怖を感じた ◆これまで自分なりに学習できていたつもりだったが、もっと学ぶ必要があると感じた ◆いまだに差別がなくなるの悲しい ◆情報社会での関わりが理解できた ◆差別しない心を持ち続けるためのエネルギーになる ◆身近におきた事ではないのを知ることで気づく事ができて良かった ◆免許更新のように続けてほしい ◆地域でこのような研修ができるのはとても良い ◆若い世代の参加が必要だと思う ◆補助的な内容もあり良かった ◆DVDが分かりやすいので今の子ども達に見せてあげたい ◆DVDで改めて差別について考えさせられた